

令和2年度第4回北海道アルコール健康障害対策推進会議「計画部会」 議事録

- 日 時 令和3年1月28日(木) 18:30~19:20 ※Web 会議形式
- 出席者 北海道医師会 岡部常任理事、北海道精神科病院協会 芦澤医師
北海道医療ソーシャルワーカー協会 岡村事務局、
日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会北海道支部 桑内支部長、
北海道国民健康保険団体連合会 中港主幹、
北海道立精神保健福祉センター 三宅相談支援部長、
札幌こころのセンター 鎌田所長、依存症治療拠点機関 山家理事長、
北海道作業療法士会 池田教授、
札幌医科大学医学部神経精神医学講座 橋本准教授
北海道アルコール保健医療と地域ネットワーク研究会 益山事務局、
北海道警察本部 相馬係長、北海道教育委員会 齋藤課長補佐、
北海道断酒連合会 和田事務局、青十字サマリヤ会 齊藤施設長
事務局 森精神保健担当課長、堀医療参事、瀬下課長補佐、松野主査、佐藤主事
- 議 題 1 第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画(素案)についての意見募
集結果(案)について
2 第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画(案)について
2 今後の予定について
3 その他

議 事
事務局

本日は大変お忙しい中、御参加いただき、ありがとうございます。定刻となりましたので、只今から『令和2年度第4回北海道アルコール健康障害対策推進会議「計画部会」』を開催します。私は北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課課長補佐の瀬下と申します。本日も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から前回同様 Web での開催となります。よろしくをお願いします。

道庁の会場には、構成機関である北海道医師会、札幌こころのセンター、北海道警察、北海道教育委員会にお越しいただいております。まず、お手元の資料を確認させていただきます。資料については先にお配りしております、次第、出席者名簿、資料1~4、参考資料、計画部会の設置要綱となっております。本日の終了予定時間は、概ね20時30分を目処と考えておりますので、円滑な議事の進行に御協力をお願いします。それでは、以降の進行は依存症治療拠点機関 旭山病院の山家理事長にお願いしたいと思います。山家理事長をお願いします。

依存症治療
拠点機関

旭山病院の山家です。これから議事進行させていただきます。よろしくお願
いします。本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり「第2期北海道アル
コール健康障害対策推進計画（素案）についての意見募集結果（案）について」、
「第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画（案）について」、「今後の予定
について」となっております。まず、議題（1）の「第2期北海道アルコール健
康障害対策推進計画（素案）についての意見募集結果（案）について」、事務局か
ら説明をお願いします。

事務局

資料1、資料2、資料3に基づいて説明

- ・第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画（素案）についての意
見募集結果（案）について
- ・第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画（案）について

依存症治療
拠点機関

只今、事務局から募集した意見の概要とこれに対する道の考え方、道がこれか
ら策定する対策案について、御説明いただきました。それでは、これから意見交
換を始めたいと思います。御意見がある場合は挙手をお願いします。

皆さんお考えの最中かと思しますので、私から一つ、気になる点がありました
のでお聞きします。資料1の「今後、推進会議等で協議していきたい。」というよ
うな内容の回答がありますが、この推進会議等について、今後、何か御説明や既
に計画されているものがあるか教えてください。

事務局

第1期計画策定後の進捗管理ができずに経過して、今年度、第2期計画策定と
なってしまったことの反省を踏まえまして、各年度どのように取組が行われ、ど
のような課題があるかという進捗管理を推進会議でしっかり行わなければならない
と考えておりますので、来年度以降についても構成機関の皆様には様々な御意
見等引き続き御協力をお願いしたいと思っております。

依存症治療
拠点機関

ありがとうございます。ほかの部分で質問等ありますか。

日本アルコール関連問
題ソーシャルワーカー
協会北海道支部

日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会北海道支部です。
資料1の番号8の「医療の質の向上や医療連携の推進において、アルコールに
対応できるソーシャルワーカーを育成するため、ソーシャルワーカーの職名を記
載していただきたい。」という記載がありまして、これはソーシャルワーカーから
の意見かと思われませんが、修正のあった資料3の12ページを見ると、「作業療法

士などの」の間に「医療ソーシャルワーカー」が入っています。我々からすると「ソーシャルワーカー」ということであれば問題はないのですが、「医療」と付けられてしまうと、精神保健福祉士との整合性が取りづらくなると思います。そのあたりどのように考えているかというところで、アルネットの益山さんいかがですか。

北海道アルコール
保健医療と地域ネ
ットワーク研究会

医療ソーシャルワーカーを広く見て、医療に携わるソーシャルワーカーという
意味で捉えても良いのかなと考えておりました。

依存症治療
拠点機関

私もこれを読んだときに、医療ソーシャルワーカーという大きな範囲の中に精
神保健福祉士も入るのではないかと考えていましたが、使われ方としてはかなり
違うのでしょうか。

日本アルコール関連問
題ソーシャルワーカー
協会北海道支部

逆にその辺りは、医療ソーシャルワーカー協会の方がどちらかという区別さ
れているのかなと思いますが。

北海道医療ソ
ーシャルワー
カー協会

北海道医療ソーシャルワーカー協会の岡村です。特に「医療ソーシャルワーカ
ー」と「ソーシャルワーカー」という文言にこだわりはありません。この意見は
どこから出たか私たちが把握はしておりませんが、逆にこのような形で意見を言
っていただいておりますという意見です。

日本アルコール関連問
題ソーシャルワーカー
協会北海道支部

そうすると、ソーシャルワーカーだけにすると、全てを網羅していて良いので
はないかと思いますがいかがでしょうか。

依存症治療
拠点機関

「医療」をはずして、「ソーシャルワーカー」と明記すればそれで済むのではな
いかと。

日本アルコール関連問
題ソーシャルワーカー
協会北海道支部

両方の場合で使えるのではないかと思います。

依存症治療
拠点機関

この意見に対してどなたか御意見ありますか。

日本アルコール関連問
題ソーシャルワーカー
協会北海道支部

中間施設で働かれている精神保健福祉士もいます。この場合はソーシャルワーカーであり、医療という枠とは少し違う気がします。

北海道アルコール
保健医療と地域ネ
ットワーク研究会

ここの項目は「アルコール健康障害に係る医療の質の向上」の中に記載されているので、ソーシャルワーカー全体というよりも、特に医療に携わっているソーシャルワーカーの人材育成を図るということを強調している部分ですので、この記載の方がわかりやすいと思いました。

北海道精神
科病院協会

両方併記するのが良いのではないのでしょうか。両方併記すれば、どちらを意味しているのかという議論にもなりにくいのではないのでしょうか。

依存症治療
拠点機関

芦澤先生提案ありがとうございます。今の芦澤先生の御提案はどうでしょうか。

事務局

迷わない形で記載し、計画案としたいと思います。

依存症治療
拠点機関

この件については、これでよろしいのでしょうか。ほかに御意見等ございますでしょうか。

今回非常に意見が多かったと思います。第1期のときも計画案策定の際、携わっていましたが、こんなに意見がなかったと思います。多くの意見が寄せられたということで、皆様の意識が高まっているのではないかとうれしく思います。

御意見等ありませんでしょうか。それでは議題2に入ります。「第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

事務局

計画案については、先ほど資料2、3で御説明しましたとおり、修正箇所は先ほど御議論のあった部分、医療ソーシャルワーカーの文言追加の1か所となっており、それ以外は素案から変わっておりません。国の関係者会議でも国の第2期計画案と会議の内容を踏まえながら道の計画案を作成しております。国が新たに追加・変更している部分については、概ね道の第2期計画案に含め作成しましたので、大きな変更点なく、計画案ということで今回示しているところになりま

す。中身については、皆様に御確認していただいておりますので、説明は省略させていただきます。

依存症治療
拠点機関

ありがとうございます。御意見ありますでしょうか。
続いて、議題3「今後の予定について」事務局から説明をお願いします。

事務局

資料4に基づいて説明
・今後の予定について

依存症治療
拠点機関

今後の計画について、事務局から説明がありましたが、御質問とかありますか。これについても御意見がないようですので、このスケジュールでやっていただきたいと思います。これで今日の議題はこれで終了となります。事務局から何か連絡等ありますか。

事務局

1点情報提供があります。大塚製薬株式会社と北海道の間で健康づくり推進連携という取組が数年前からあるのですが、その一環で今回、アルコール依存症の疾患予防の啓発ポスター作成ということで当課と大塚製薬で作成の打合せを始めたところですが。作成したポスターについては、医療機関、保健所や市町村など地域の支援機関にも配布をして普及啓発を進めていくということで準備していますという報告です。

もう1点連絡事項ですが、2月4日開催予定の推進会議ですが、会議資料を明日もしくは週明けに送付させていただきますので、目を通していただき当日御意見等いただければと思います。

依存症治療
拠点機関

先ほどの大塚製薬が協力してくれる啓発ポスター作成については、計画案に入れるものではないですね。

事務局

はい。急遽あった話なので、このような動きがありますということの情報提供になります。既に全国約20か所の自治体が大塚製薬と啓発資材を作成し、普及啓発を行っているようで、今回、北海道に声がかかったところです。

依存症治療
拠点機関

啓発習慣に合わせたポスターではないということですね。

事務局

そうですね。啓発週間に配布するという方法もあるのですが、(啓発週間は)11

月ということで遅い時期になってしまうので、配布時期は早い時期にと思っておりました。詳細はこれから詰めていく予定としております。

依存症治療
拠点機関

わかりました。それでは、今日の議題は全て終了いたしましたので、進行を事務局へお返しします。

事務局

山家理事長ありがとうございました。次回は2月4日に第2回推進会議を予定しております。なお、当日の資料につきましては、先ほど御連絡させていただきましたが、後日、事務局から送付させていただきますのでよろしくお願い致します。それでは、最後に担当課長の森から一言御挨拶申し上げます。

精神保健担当課長の森でございます。山家理事長、議事進行ありがとうございました。また、皆様も大変お忙しい中御意見いただきましたことありがとうございます。先ほど、今後の予定ということでお話をしましたが、今日いただいた修正点を反映させて、推進会議に掛けさせていただくのと同時に、2月25日から始まる道議会にも計画案を提案させていただいて、さらに御意見いただいたものを成案としていきたいと思っております。アルコール健康障害は最近、新型コロナウイルスの関係により、依存される方が増えているのではないかとということで関心を持っていただいている分野とも考えております。そして、アルコール健康障害だけではなく、昨年度策定しましたギャンブル等依存症もそうですが、広く依存症対策ということを有効にやっていきたいと思っております。その中では推進会議、部会において、具体的な取組を教えていただきながら進めていきたいと思っております。今回は計画が部会のメインとなりましたが、先ほど山家理事長からおっしゃっていただきました推進会議の中でこれからいろいろ検討していただきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。